

石油連盟 2005年 10大ニュース

1. 原油価格の高騰

一時的に70ドル(WTI)を突破

IEA協調行動の一環として民間備蓄の取り崩しを実施

2. サルファーフリー燃料の供給に対し、東京都環境賞を受賞

世界に先駆けた取り組みに高い評価(50ppm 軽油供給に続き2度目の受賞)

3. 京都議定書の発効

「京都議定書目標達成計画」が閣議決定

石油業界の自主行動計画により、2004年度1,000万トンのCO2削減効果

4. 2030年エネルギー需給展望の策定

2030年も石油は一次エネルギーの約4割を占める重要なエネルギーであると評価

5. 脱石油論の一掃

脱石油論は、「エネルギー基本計画」など政府の基本方針と矛盾

3Eの観点から、あらゆるエネルギーを有効利用・高度化利用することが重要

6. 新たな石油政策の検討開始

総合資源エネルギー調査会石油分科会の検討開始

7. 「環境賛成・増税反対」運動の展開

環境税は、需要抑制効果・財源論・負担論の点から問題

「環境賛成・増税反対」運動を展開し、導入を阻止

8. 道路特定財源の一般財源化等、使途の組替えへの断固反対

道路特定財源に余裕があるならば、暫定税率を引き下げることがを主張

9. 石油備蓄政策見直し決定

民間備蓄義務の低減(70日→60~65日)、輸入業者の登録制の維持

10. 石油連盟創立50周年

環境保全の強化・推進、国際的な省エネ貢献、エネルギー供給体制の整備・拡充の取り組みを強化

以上